

安心して学び過ごせる場を

低所得世帯の子ら支援

兵庫教育大(加東市下久米)の学生有志らでつくる「兵庫子ども支援団体」が6月から市内で、低所得世帯などの子どもを対象に学生や社会人のボランティアが指導する学習支援を始める。代表の3回生多田実乗さん(20)は「勉強だけでなく、子どもたちが安心して過ごせる場所になりたい」と話す。

(桑野博彰)

いじめ自殺事件など上げた。現在は正会員に心痛めた多田さん 8人とボランティア約が、明石北高校(明石 70人が所属。児童虐待が、市大久保町松陰)に在 防止の啓発や小児がん学していた2013 患者らの支援にも取り

学習支援は、昨年から明石市内で市の助成を受けて活動を開始。多田さんやボランティアが学校の宿題のサポートや苦手教科の指導。



「教職を目指す上で支援活動は貴重な経験」と話す代表の多田実乗さん＝兵庫教育大



明石での学習支援活動の様子(兵庫子ども支援団体提供)

兵教大生有志ら 加東で来月から活動

加東市では6月19日から毎週日曜午後2～5時と木曜同6～8時、同市福祉センターで実施。低所得世帯▽ひとり親世帯▽未就労の18歳未満が3人以上の世帯 などの小学4年▽中学3年生を対象に15人程度を募集する。家庭環境は自己申告。費用は1回2000円だが、上限は月8000円。兄弟姉妹で参加する場合は割り引く。多田さんは「夏休みの工作教室や交流イベントなども検討したい」と話している。申し込みは同団体のホームページから。ボランティアも募集している。同団体050・5106060・514488